

第2回 横浜市保土ヶ谷区地域ケアプラザ指定管理者選定委員会 議事録	
日 時	令和5年4月19日(水) 14:00~16:40
場 所	保土ヶ谷区役所本館4階 401会議室
出席者	<p>【選定委員】穴原委員、安藤委員、加藤委員、上川委員、大尾委員、中谷委員、福田委員</p> <p>【事務局】</p> <p>保土ヶ谷区福祉保健センター担当部長 藤村秀樹</p> <p>保土ヶ谷区福祉保健課長 水野直樹</p> <p>保土ヶ谷区高齢・障害支援課長 近藤友和</p> <p>保土ヶ谷区福祉保健課事業企画担当係長 宮崎陽子</p> <p>保土ヶ谷区福祉保健課事業企画担当 梶原麻子、相馬翔悟</p>
欠席者	樋口委員
途中退席	加藤委員
開催形態	公開(傍聴者:0名)※議題1以降非公開
議 題	<p>1 応募団体の面接審査</p> <p>2 指定管理者の候補者(以下「指定候補者」という。)の選定審議</p>
決定事項	<p>1 委員会の公開・非公開、面接審査の進め方、採点方法については、第1回指定管理者選定委員会で審議・決定した内容のとおりとすることを確認した。</p> <p>2 指定候補者を決定した。</p> <p style="padding-left: 2em;">指定候補者:社会福祉法人なでしこ会</p> <p>3 議事録及び選定結果報告書の確認は委員長に一任する。</p>
議 事	<p>1 開会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・選定委員8人中7人出席につき横浜市保土ヶ谷区地域ケアプラザ指定管理者選定委員会運営要綱第7条第3項により、委員会が成立していることを報告。ただし、うち1名は、途中退席により採点には反映せず、5人以上の出席で定足数を満たすため、6名で審査を実施。 <p>2 審査に係る確認</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 資料 <ul style="list-style-type: none"> ・配付資料について確認。 (2) 会議の公開・非公開 <ul style="list-style-type: none"> ・傍聴人はなし。 ・会議の公開・非公開について、第1回指定管理者選定委員会で審議・決定した内容のとおりとすることを確認。 (3) 応募資格等の確認 <ul style="list-style-type: none"> ・応募のあった1団体が当公募の欠格事項に該当しないことを事務局から報告。 (4) 選定方法の確認 <ul style="list-style-type: none"> ・採点方法、最低制限基準点及び選定方法を事務局から説明。 (5) 財務状況について <ul style="list-style-type: none"> ・財務分析結果報告書の内容を事務局が説明。

3 応募団体の面接審査

- ・応募団体が、応募書類の内容に関するプレゼンテーションを実施し、その後、質疑応答を行った。
- ・団体の面接審査終了後、意見交換を行った。

[質疑応答]

- ・委員：地域連携を進めていく中で、最終的な目標はどういったものか。
- ・団体：大きな話では、地域包括ケアの推進。住み慣れた地域で安心して暮らしてもらうことが目標。その達成に向けて、それぞれのテーマごとに目指す目標を話し合っている。また、地域の皆様を支えるために区役所・区社会福祉協議会と協働しながら、地域ごとの特性に応じて支えていきたい。
- ・委員：苦勞していることなどはあるか。
- ・団体：コロナ禍で地域に出向くことが難しい状況のため、その中でどのようにして繋がりを続けていくかということに苦勞しているが、広報誌やブログ等でケアプラザの情報を発信していくなど、広報に力を入れている。また、常盤台地域ケアプラザのバッジを作成し、ケアプラザを知っていただくことにつなげている。
また、チームオレンジ事業では、認知症理解は進んできているが、地域の方々が認知症の方を支援するサポーター側になってもらうことへの働きかけや、理解していただくことはハードルが高く、苦勞している。
- ・委員：財務に関する運営の方向性を教えていただきたい。
- ・団体：経営改善に向けて、介護保険事業（通所介護や居宅介護支援）の利用率・稼働率の向上を目指している。介護報酬の加算が取れることを目指し努力している。経費も昨年度から上昇しているため、厳しさを増している。また、常盤台地域ケアプラザのエリアでは、民間の介護保険事業者が様々なサービスを展開しているため、工夫が必要である。ケアプラザとしてできる努力をしていく。
- ・委員：羽沢国大駅もでき、これからまちがどう変化していくのか今後の展望を教えてください。
- ・団体：地域まちづくりプランを作成している。駅周辺が狭い通路が多く、分かり辛いという声もあるため、分かりやすく表示するサインづくりを行っている。また、令和4年度に、地域住民へ「どのような地域課題があるか」という内容でアンケートをとり、現在とりまとめを行っている。優先順位をつけて課題解決に向けて、地域まちづくりプランの策定を行っていく予定。
- ・委員：ホームページやブログで工夫していることはあるか。
- ・団体：ブログについては、実施した事業を、写真と職員のコメントなど載せるなどして、より伝わりやすくなるように工夫をしている。
- ・委員：問合せに関して、電話以外の方法があるか。
- ・団体：代表のメールアドレスがあり、ホームページに掲載している。また、地域活動の事務局を行うことが多いため、メーリングリストを活用し、地域の皆様と情

報共有ができるようにしている。

- ・委員：地域での犯罪に関して、ケアプラザとして取り組んでいることはあるか。
- ・団体：毎月、地域の定例会に参加し、防犯に関する情報を共有している。その他に注意喚起のメール連絡を行っている。

[意見交換]

- ・人員配置や、関係機関との連携、個人情報の管理に関してなど、運営を行う上での具体的な説明があるとよかった。
- ・防災について、地域との役割分担や災害による対応の違いなど、もう少し具体的な話があるとよかった。
- ・コロナ禍もあるが、この先3年後にどのような財務状況になっていくのかが気になる。ただし、借入金が少ないため資金繰りはできていると思う。
- ・事業実績などから、日々の努力が感じられる。
- ・こういう計画で、このように進めていきたい、といった見通しをもった今後の方針に関する記載があるとよかった。
- ・コロナが落ち着き、今年度以降、事業がスムーズに進めば財務的な面での懸念がなくなっていくのではないかと期待する。
- ・大学との連携も熱心に取り組んでいるところが評価できる。

4 指定候補者の選定審議

- ・団体の得点を報告。

応募団体	評価得点
社会福祉法人なでしこ会	934 点

※満 点：1,240 点

※最低制限基準：708 点

- ・団体の得点が、最低制限基準である「7 前期の指定管理業務の実績」を除く評価基準項目の合計点に、第2回選定委員会で最高点をつけた委員及び最低点をつけた委員を除く残りの委員数を乗じて算出した点数の60%以上であったことを報告。
- ・指定候補者を審議・選定。

指定候補者：社会福祉法人なでしこ会

資 料

- (1) 資料1 タイムスケジュール
- (2) 資料2 選定委員名簿
- (3) 資料3 プレゼンテーション資料
- (4) 資料4 採点シート
- (5) 資料5 財務分析結果報告書